

1. openSUSEユーザなら、使ったことのある/使っている人も多いであろうYaST。
このたび、YaSTがYCPなるCライクなYaST用のDSLから、Rubyに移植されたらしい。

ネタ元：openSUSE 13.1 M4 Brings Ruby-Based YaST

YaSTのリポジトリをザッと眺めてみたところ、本当にRubyで書かれているようだ。
メソッド名がキャメルケースになっていたり、ルビルビしさがあまり感じられないコードだという印象を受けるが、移植するときの都合などもあったのであろう。プロジェクト内で統一されていればよいのだ。

いざというときに、一番得意とする言語で書かれているというのはありがたいものだ。